

大分県細胞診学会 スライドコンファレンス

大分大学診断病理学講座

門脇 裕子

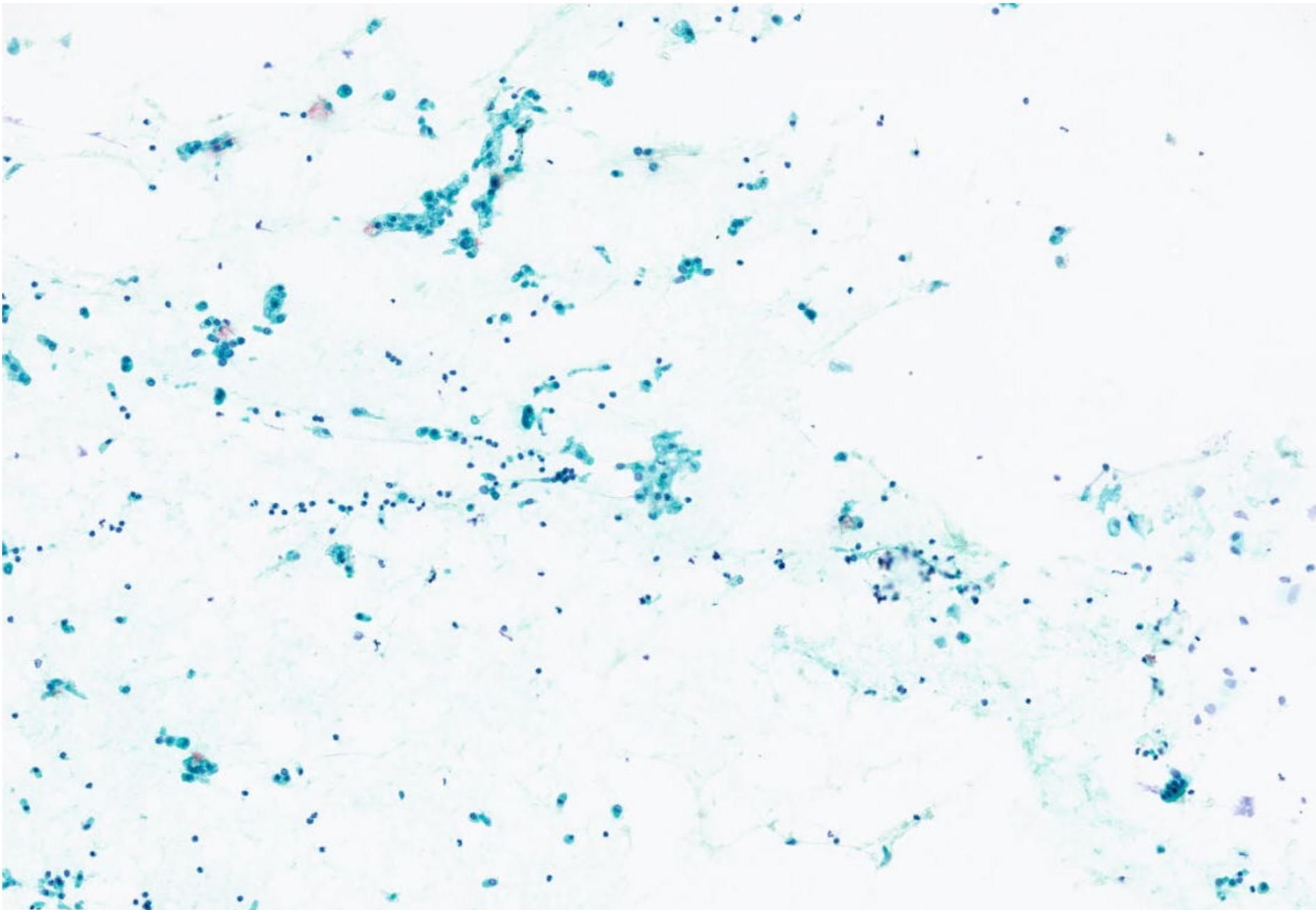
症例: 70代 男性

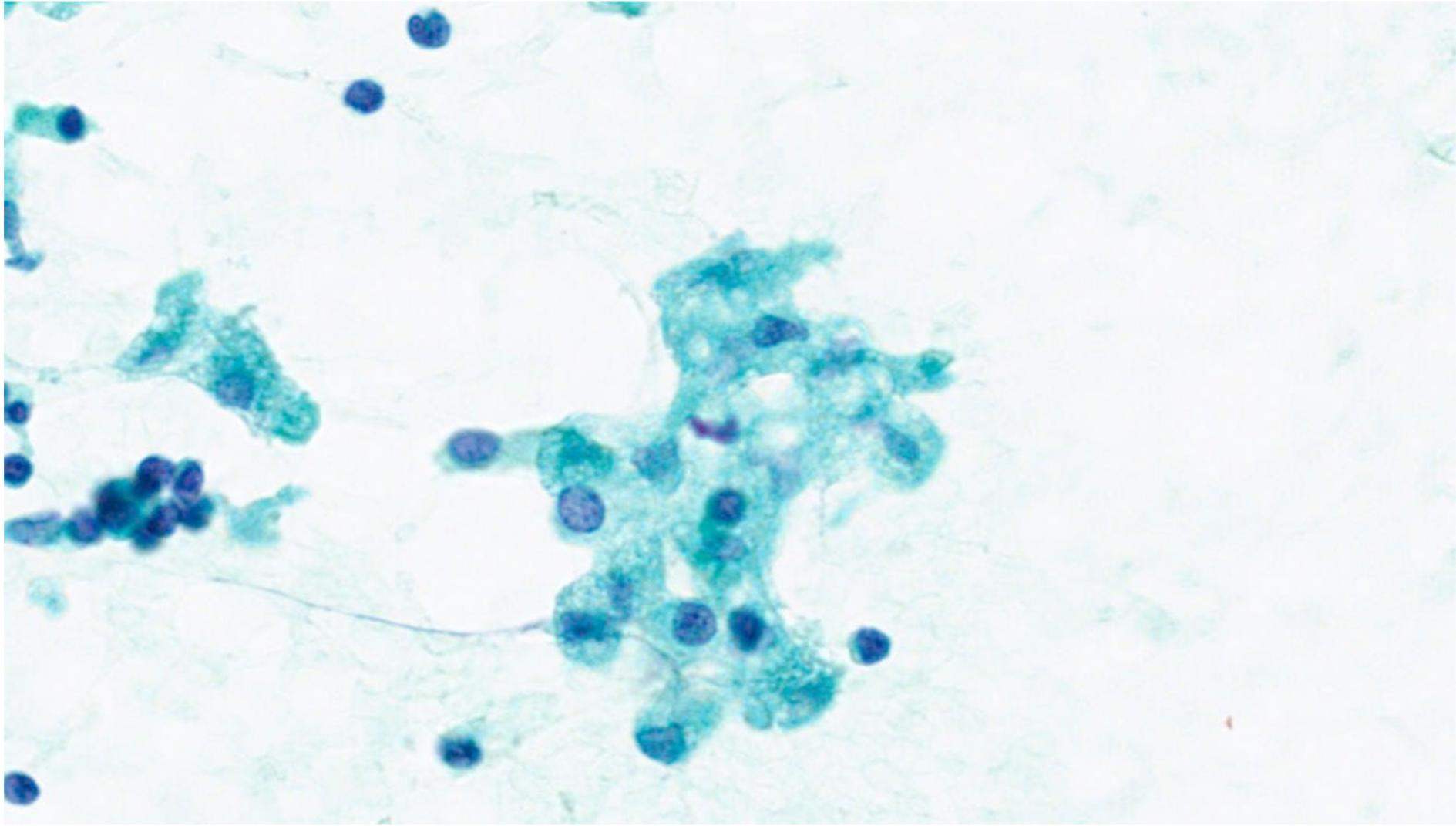
現病歴: 左腎癌術後(X-13年), 膵転移性癌術後(X-1年)である。経過途中でCT画像上、膵鉤部に腫瘍性病変を指摘された。病変は増大傾向であり、EUSでは同部位にモザイク状病変が認められたため、EUSFNAで穿刺施行された。

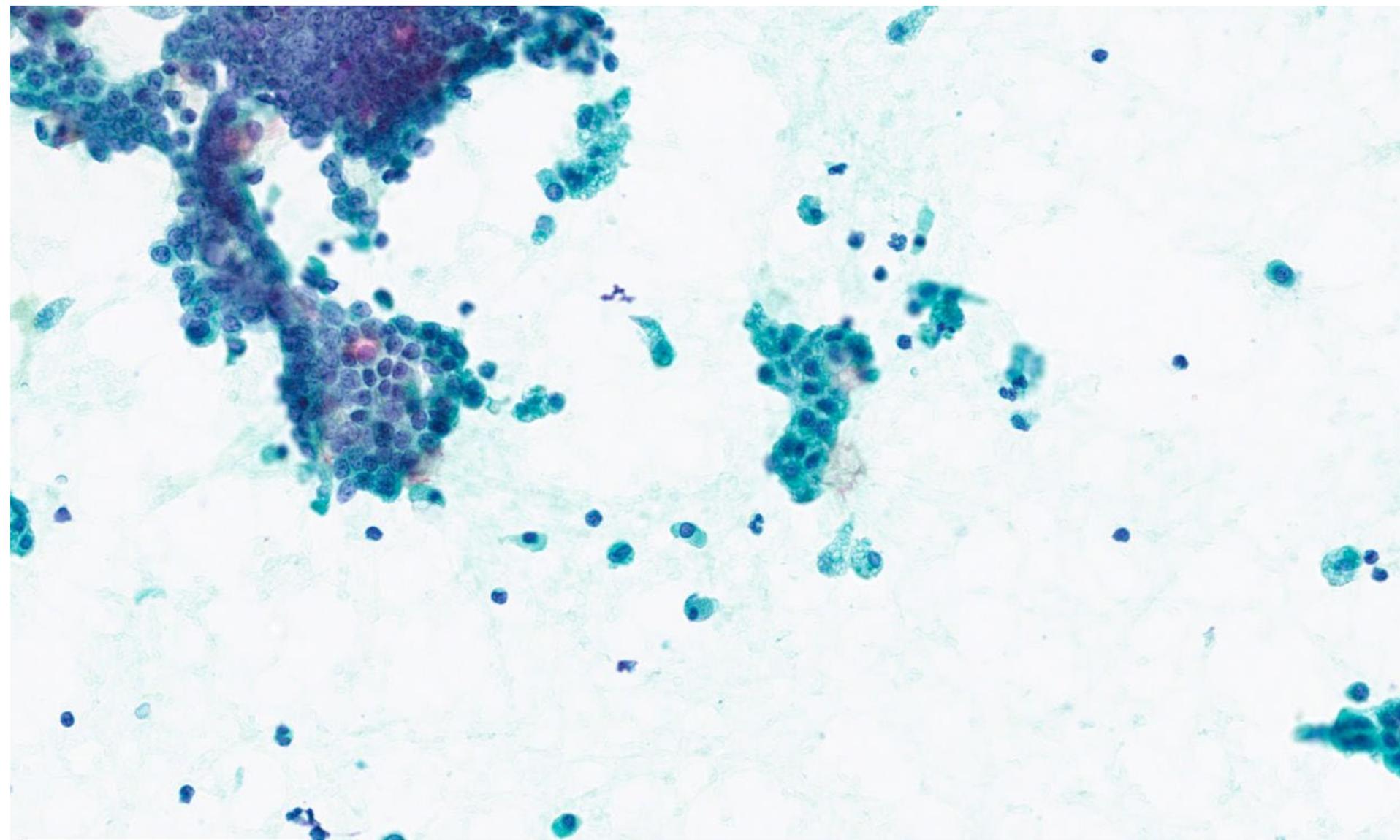
検体: 膵組織

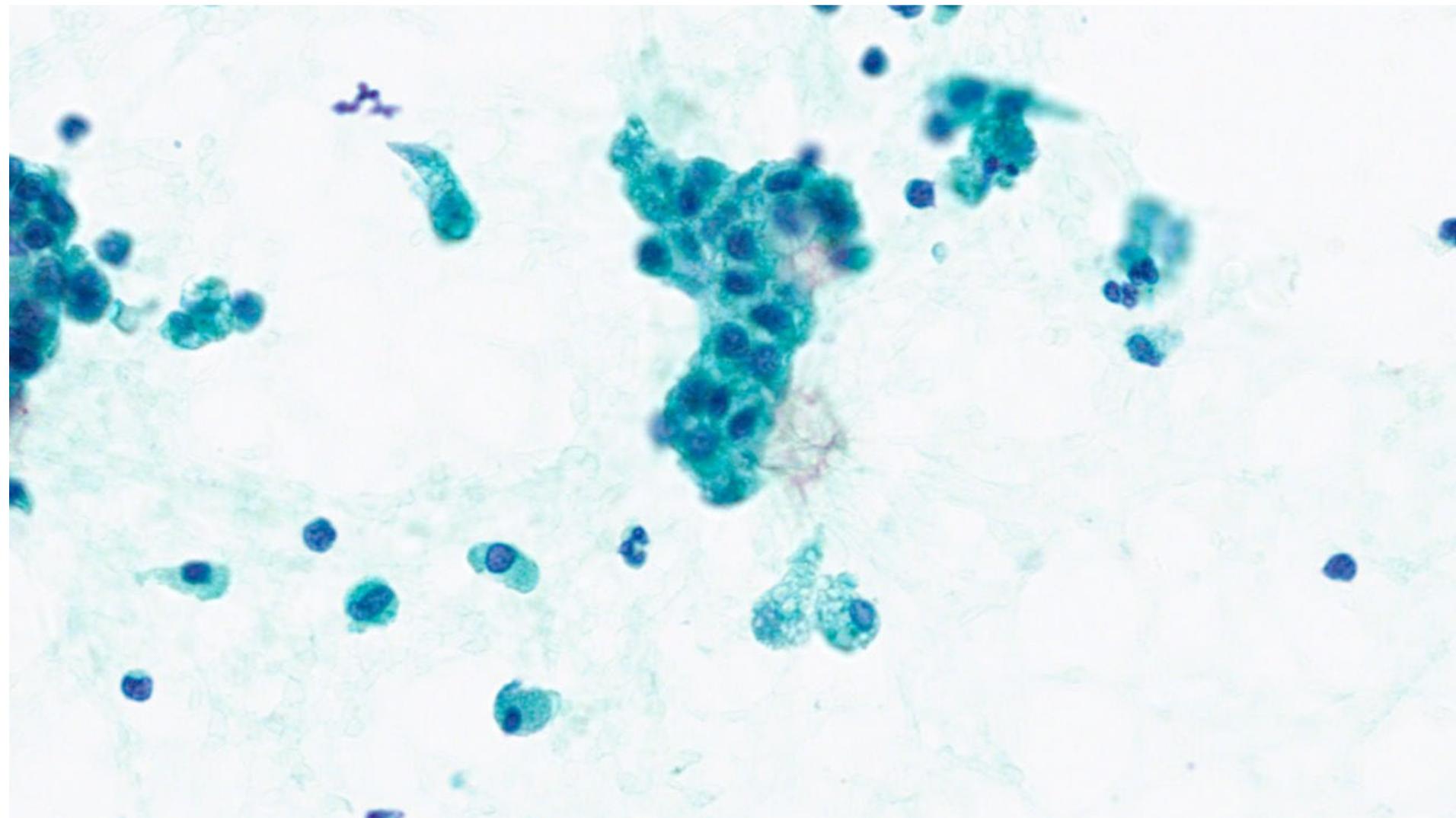
採取方法: EUSFNA

染色: Papanicolaou染色









選擇肢

① 胰導管癌

② 胰腺房細胞癌

③ 轉移性癌

④ 神經內分泌腫瘍

⑤ 充實性偽乳頭狀腫瘍